

## 第 375 回狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 令和3年6月8日（火）午前11時21分～11時32分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長  
副本部長 平林副市長  
副本部長 柏原教育長  
本部員 高橋企画財政部長  
本部員 石橋総務部長  
本部員 鈴木市民生活部長  
本部員 小川福祉保健部長  
本部員 片岡子ども家庭部長  
本部員 門井環境部長  
本部員 小俣都市建設部長  
本部員 小川議会事務局長  
本部員 上田教育部長  
事務局 富田政策室長  
五十嶺企画調整担当主任  
猪野企画調整担当主事
- 4 欠席者
- 5 議 題 1. 狛江市前期基本計画推進プラン 令和2年度進捗状況報告書（案）について  
2. 狛江市第6次行財政改革推進計画 令和2年度進捗管理報告書（案）について  
3. その他

### 6 会議概要

本部長 それでは、議題1「狛江市前期基本計画推進プラン 令和2年度進捗状況報告書（案）について」説明をお願いします。

事務局 令和2年3月に「狛江市第4次基本構想前期基本計画」を策定し、その中で設定した35の重点化した方向性について、計画期間内に取り組む主要事業等を示すことを目的として「狛江市前期基本計画推進プラン」を令和3年1月に策定した。本報告書は推進プランに掲げた主要事業に係る取組内容について点検し、令和2年度の取組状況を報告するものである。

議題1資料の2ページ、「3 構成」として、（1）前期基本計画に掲げる指標の推移、（2）令和2年度実施事業の進捗管理、（3）新型コロナウイルス感染症に伴う取組の実施結果の3つの項目で構成している。

続いて、3ページから7ページまでが 体系図を記載し、8ページで前期基本計画に掲げる指標の推移を掲載している。前期基本計画の中で掲げた「7つのまちの姿」の実現に向け、進捗状況を図る指標の推移として、令和2年度末時点の数値を記載している。

続いて、15ページからが「主要事業の取組」として、前期基本計画で掲げられているまちの姿、施策及び方向性を示し、主要事業とその概要を記載するとともに、その下に令和2年度の取組状況を記載している。

最後に 59 ページで令和 2 年度中に実施した新型コロナウイルス感染症対策として、「1 市民生活・地域経済への支援の取組」と「2 感染拡大防止に向けた取組」の 2 つに分類し、令和 2 年度補正予算の内容のうち、市民及び市内事業所等に対する給付金等を中心に実施結果を記載している。今後については、各部において確認いただき、次回庁議前の行財政改革推進本部会議にて再度審議願います。

本部長 質問・意見等なければ、議題 2「狛江市第 6 次行財政改革推進計画 令和 2 年度進捗管理報告書（案）について」説明をお願いします。

副本部長 評価の視点で 4 点が挙げられているが、施策評価シートを見る限り、①市民参加・市民協働の視点、②狛江らしさの視点を、それぞれどのように判断するかという項目が見当たらないが、認識を伺う。

事務局 議題 2 資料の 1 ページでは、計画の目的、進捗と公表、体系図を記載している。「狛江市総合基本計画（第 4 次基本構想）」の将来都市像の実現するための「まちの姿」の 1 つである「持続可能な自治体経営」を行財政改革の基本的な考えを示すものとして、「狛江市第 6 次行財政改革大綱」と位置付け、この大綱に基づき、「持続可能な自治体経営」を目指していくため、狛江市第 6 次行財政改革推進計画を策定した。本報告書は推進計画に掲げた全取組事項を施策及び方向性に照らし合わせて点検し、令和 2 年度の取組の進捗状況を報告するものである。

続いて、5 ページでは「持続可能な自治体経営」の実現に向けて進捗状況を図るための 7 つ指標について、令和 2 年度末時点の数値を掲載している。

次に、8 ページから「令和 2 年度の取組状況」を記載している。

参考資料については、「取組項目 08 5 レス化の推進」に関連して、本計画におけるペーパーレス化の推進状況を把握するための調査について、結果を掲載している。市役所庁舎内における「複合機及び複写機の使用量」及び「再生紙の購入量」を平成 31 年度と令和 2 年度で比較したものとなっている。

ペーパーレス化については、削減率が低いことから、庁内会議等の資料や庁内文書の電子化を中心にペーパーレスの取組に関する基本的な方針を定め、庁内全体で推進できるよう、次回行財政改革推進本部会議にて、方針案を示すものとする。

今後は、推進プランと同様、各部において確認いただき、次回行財政改革推進本部会議にて再度審議をお願いします。

本部長 何か質問・意見はあるか。

副本部長 指標について、「職員の対応に対する市民の満足度」の割合が微増しているにもかかわらず、「質の高い行政運営が行われていると感じている市民の割合」が大幅に減少しているのはなぜか。

事務局 両数値とも、市民アンケートの結果であり、現在進めている市民アンケートの報告と照らし合わせて要因を追求していく。

本部長 他に意見等がなければ、第 375 回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。